

Vol.
70



©FUKAYA Yoshinobu / aurya2

安土 真弓 ●ホルン
Mayumi Anzuchi

1981年石川県能美市辰口町生まれ。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。第77回日本音楽コンクール第2位、ならびに増沢賞、岩谷賞(聴衆賞)も併せて受賞。ホルンを故・千葉馨、松田良俊、金星真、守山光三、松崎裕、石川博達、日高剛の各氏に師事。2005年名古屋フィルハーモニー交響楽団入団、現在、首席ホルン奏者。愛知県立芸術大学、名古屋音楽大学、各非常勤講師。The Horn Quartet メンバー。2019年より石川県能美市観光大使に就任。2022年9月CD「The Horn Duo」リリース。



©FUKAYA Yoshinobu / aurya2

五十畑 勉 ●ホルン
Tsutomu Isohata

東京音楽大学卒業。同大学研究科修了。アムステルダム音楽院卒業。卒業時にオランダ国家演奏家資格取得。ホルンを松崎裕、Jacob Slagter、Julia Studebakerの各氏に、ナチュラルホルンをTeunis van der Zwart氏に師事。オランダ留学時にコンサートヘボウ管の定期演奏会の他、プロムス、ルツェルン等の音楽祭にも出演。東京シティ・フィル、東京フィルを経て、現在東京都交響楽団ホルン奏者。ホルンアンサンブル「つの笛集団」、The Horn Quartet各メンバー。洗足学園音楽大学非常勤講師。



斎藤 龍 ●ピアノ
Ryu Saito

東京藝術大学、同大学院を経てチューリッヒ芸術大学大学院コンサートディプロム、ソリストディプロム修了。ブラームス国際コンクールをはじめ受賞多数。これまでにソリストとしてリサイタルや協奏曲を国内外で演奏する他、TV、ラジオ、舞台などにも出演するなど様々な形態で活動している。2011年～13年にかけてのピアノソナタ全曲ツクルス、2020年のヴァイオリンソナタ全曲配信コンサートをはじめ、ベートーヴェン作品の演奏をライフワークにしている。東京藝術大学、沖縄県立芸術大学非常勤講師を歴任。

Vol.
71



©satoshi kuronuma / aaosora

西澤 安澄 ●ピアノ
Azumi Nishizawa

スペインを拠点に、国際的に活躍するピアニスト。スペイン音楽のスペシャリストとして各国で高い評価を得ている。桐朋学園女子高等学校音楽科を卒業、同大学にて神谷郁代、岡本美智子、池田素子に学ぶ。その後、フランスの巨匠・名教授として高名なドミニク・メルレにその才能を見出されて、ジュネーブ音楽院大学院にて師の薫陶をうけた。同音楽院を満場一致の一等賞で卒業後、スペインを代表するピアニストで名教授のホアキン・ソリアノに招かれ、拠点をマドリッドへ移す。2002年スイス・ジュネーブ芸術協会主催の定期演奏会でのデビュー以来、世界各国で活発な演奏活動を行っている。これまでに、フランス、イタリア、スイス、スペイン、ポルトガル、日本、中国の主要な音楽ホールでのリサイタル、各国の音楽祭への出演多数。ジュネーブ芸術協会の定期演奏会シリーズ(スイス)、パリ・シヨパン・フェスティバル(フランス)、京都千夜一夜音楽祭(日本)、ヴィチエンツァ春の音楽祭(イタリア)、ロス・クラシコ・デ・ペラマ・エン・マドリッド(スペイン)、トレシユダ音楽祭(ウエスカ、スペイン)、ロープレス音楽祭(スペイン)その他多数。京都清水寺でクラシック音楽の演奏会としては開帳後初めての奉納コンサートを開催。スペイン・グラナダ大音楽堂の柿屋とのためのリサイタルを行う等さまざまなシーンにおいて活躍。ソロ活動と並行して室内楽にも力を入れている。これまで、名門スイスロマンオーケストラのトッププレイヤーで編成されたスイスロマン木管クインテットとの日本ツアー、アッサイ弦楽四重奏団ほか、一流アーティストとの共演を重ねている。バロック時代の室内楽にも興味を示しており、バロックフルート奏者のマリア・マルティンと共にグループ・エクストラヴァガンツァのコンサートプロジェクトにはチェンバロを用いて共演した。遺族から厚い信頼を得、またスペイン精鋭の音楽学者からの積極的な応援のもと、2010年、スペインの名門レコードレーベルVERSOより「マヌエル・デ・ファリャ ピアノ作品全集」をリリース。スペインが世界に誇る大作曲家ファリャの数少ないピアノ曲全集を造る歴史的プロジェクトとして注目が集まった。日本ではレコード芸術特選盤に選ばれるなど、スペインのみならず各国で販売、好評を得ている。その後、2012年にCD「ファリャ：ピアノ編曲作品全集」、2014年にはCD「アルベニス：組曲イベリア全集」発表している。2003年、映画「福耳」(宮藤久九郎、田中邦衛主演)出演、演奏。2004年、上海師範大学非常勤教授。現在はグラナダ在住。

遺族から厚い信頼を得、またスペイン精鋭の音楽学者からの積極的な応援のもと、2010年、スペインの名門レコードレーベルVERSOより「マヌエル・デ・ファリャ ピアノ作品全集」をリリース。スペインが世界に誇る大作曲家ファリャの数少ないピアノ曲全集を造る歴史的プロジェクトとして注目が集まった。日本ではレコード芸術特選盤に選ばれるなど、スペインのみならず各国で販売、好評を得ている。その後、2012年にCD「ファリャ：ピアノ編曲作品全集」、2014年にはCD「アルベニス：組曲イベリア全集」発表している。2003年、映画「福耳」(宮藤久九郎、田中邦衛主演)出演、演奏。2004年、上海師範大学非常勤教授。現在はグラナダ在住。

Vol.
72



上江 隼人 ●バリトン
Hayato Kamie

東京芸術大学音楽学部、同大学院首席修了。06年ディマロ国際声楽コンクール優勝(イタリアトレント)11年イタリアのヴェルディフェスティバルにて「トロヴァトーレ」でイタリアオペラデビュー。東京二期会「ナブッコ」タイトルロール、東京二期会「パリアッチ」トニオ役、同年パルマ王立歌劇場「ステイフェーリオ」スタンカー びわ湖・神奈川県民ホール共同制作「椿姫」ジェルモン役、東京二期会「ドン・カルロ」ロドリゴ役で出演、シチリアベッリーニ劇場の「カヴァレリア・ルスティカーナ」、「パリアッチ」のアルフィオ、トニオ両役を演じ好評を博す。同劇場の上海ツアーにも参加するなど国際的な活躍もしている。15年東京二期会オペラ劇場「リゴレット」タイトルロールでは各誌に「道化の絶唱」と大絶賛された。同年10月にもパルマのヴェルディフェスティバルにて「リゴレット」タイトルロールに大抜擢され好演を博す。東京二期会「トロヴァトーレ」ルーナ伯爵、日生劇場「セリピアの理髪師」フィガロ役、新国立劇場「アイダ」アモナズロ、「チェネントラ」ダンニーニ役にて出演。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。NHKニューイヤーオペラ・コンサート等にて出演。2020年のリサイタルで文化庁芸術祭新人賞受賞。21年1月に初のソアルバム「ヴェルディアーノ」絶賛発売中。日声協オペラアカデミー会員、藤原歌劇団団員。



吉岡 佑弥 ●ピアノ
Yuuya Yoshioka

京都市立京都堀川音楽高等学校出身。在学中選抜ピアノコンサート、卒業定期演奏会等でソロ出演。卒業時に実技優秀者として京都市教育委員会より表彰される。2011年ヤマハヤングピアニストコンサート金賞。2012年長江杯国際コンクール第二位。同年日本クラシック音楽コンクール第三位。2013年板橋区クラシック音楽オーディション最優秀賞。及びロビーコンサートを開催。2016年横浜国際コンクール第五位。東京音楽大学を経て同大学院鍵盤楽器研究領域伴奏修了。これまでにピアノソロを福井 尚子、川島 基、伴奏を御邊典一、広瀬 宣行、室内楽を竹中 勇人の各氏に師事。



Happiness Hill
One Coin Concert